

① 「やすらぎの道」の並木 (成田線車窓八景)

新木駅前「やすらぎの道」のムサシノケヤキは、箒を逆さまにしたようなスッキリとした立ち姿です。並木は布佐平和台に入るとトウカエデに変わります。

② 広大な手賀沼干拓地 (斜面林・田園八景)

手賀沼ふれあいラインに沿う、東西約 6km、南北約 500m～1kmの干拓地です。手賀沼干拓事業は江戸時代から何度も進められましたが、戦後ようやく現在の広大な水田地帯となりました。やすらぎの道からも見渡せた干拓地は、家が建ち並んだ現在、千間堤とその近辺が見えるだけになりました。

③ 新木駅北側付近の樹林地 (成田線車窓八景)

東西数百メートルにわたる屋敷林で、その昔、大きかつた手賀沼からの強風を防ぐために各屋敷の南側に植えられました。シイノキ、ムク、ニシ、ケヤキなど、樹齢200年以上の樹もあります。

④ 葺不合神社 (ふきあええずじんじや)

国道 356 号に面した一の鳥居から下り、二の鳥居からは上がる珍しい参道です。古い2本の大イチョウは市指定保存樹木となっています。二の鳥居、拜殿、後方の本殿は市指定文化財です。本殿の「天岩戸」「八岐大蛇(やまたのおろち)退治」等の彫刻が見事です。新四国相馬霊場第 77 番の札所があります。

⑤ 古戸の坂の十字路 (坂道八景)

二本の坂道が X 字形に交叉し、迷宮に入り込んだような錯覚に襲われます。この十字路は古戸稻荷神社や天神様への道であり、昔から住民の大切な生活道路です。

⑥ 天満宮

利根川沿いの水田地帯を見下ろす台地にあり、地元では天神様と言われ、梅や桜、イチョウの古木と孟宗竹林に囲まれています。国土地理院の三等三角点があります。

⑦ 利根水郷ラインから望む緑の帯 (斜面林・田園八景)

市民体育館付近から見る田園と直線距離で約5kmにわたって見渡せる斜面林の緑の帯は、我孫子市の北面の代表的な景観です。その斜面林に沿ってハケの道が迷路のように曲がりくねって続いています。

⑧ ハケの道の迷路 (ハケの道八景)

我孫子の台地の北面を包み込む斜面林は延々と続きます。ハケの道はその斜面林に沿い、片側に谷津や田園を眺め、迷路のようです。水神様の祠を過ぎて東端の新木小学校の下迄続きます。

《健脚コースの見どころ》

○ 高垣のある通り

二層構造の生垣で、その高さは5m以上あり、我孫子市の「第1回景観賞」を受賞しました。山背(やませ:北東の風の意)が吹くと茅葺屋根がはがれるので、それを防ぐため北東側に高垣を巡らせました。

○ 桜井戸

中相馬の七ツ井戸の一つで、かつて飲料水、農業用水として村民の生活を支えてきた共同井戸です。今でも年末に井戸掃除が行われ、しめ縄が張られています。

スタート・新木駅南口

① 「やすらぎの道」の並木

② 広大な手賀沼干拓地

③ 新木駅北側付近の樹林地

④ ふきあええずじんじや

⑤ 古戸の坂の十字路

⑥ 天満宮

⑦ 利根水郷ラインから望む緑の帯

⑧ ハケの道の迷路

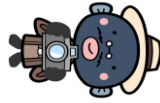
ゴール・新木駅北口

八景歩き 検索



八景歩きは他にもコースがあるよ！

手賀沼のうなぎちゃん



距離 5.0km
消費カロリー—
225Kcal
体重60kgの方が
時速4kmで歩いた場合



新木・古戸の 古社と里を巡るコース

我孫子のいろいろ 八景歩き

布佐・新木
エリア 2

我孫子遺産

我孫子市の歴史・文化を語るうえで大切なもの、価値があると思うもの

新木・古戸の古社と里を巡るコース

